

ドイツ 10 日間の思い出

三木 詩織

私が尼崎市の青年使節団員の 1 人として選ばれたと知った時は、本当にうれしかったです。また、ドイツを訪問出来るのは 2 回目（前は北部の方の町でしたが）ということで、とてもわくわくしていました。しかし同時に不安があったことも事実です。それは自分が人見知りをしてしまうということです。そのせいでホストファミリーやアウクスブルク市青年使節団員に会った後も、なかなかすぐには打ち解けることが出来ないのではないだろうかと不安でした。

8 月 24 日～26 日 ベルリン滞在

私たちのベルリン滞在期間は、ほんの 1 日半ほどでした。しかし、ガイドさんのおかげでこの短い時間の中で多くの場所を訪れることが出来ました。その短い期間の中でも最も印象に残っているのはベルリンの壁を見ることが出来たことと壁の博物館を見学することが出来たことです。私はベルリンの壁を直で見たときに、「たったこんな薄い壁のせいでベルリンの人たちは東西に分裂させられ、家族や友人たちとバラバラに暮らさなくてはならなくなってしまったのか・・・」と考えさせられました。今までは、テレビなどに出てくる程度しか壁のことを知らなかったのですが、今回壁を生で見ることが出来て色々な思いを垣間見て、とてもいい勉強が出来ました。また、ベルリンの壁博物館ではこの東西の壁を乗り越えようとした人たちの様々な脱出方法が展示され、写真で紹介されていました。中に

は、脱出に失敗して亡くなる方もいたそうです。その光景を見ていると、「本当に大変な思いをして壁が存在していた約 30 年を暮らしていたのだな」と実感することが出来ました。この研修の主な研修先はベルリンではなかったのが本当にほんの少しの時間しかベルリンを見てまわることが出来なかったのですが、その限られた時間の中で様々なことを学ぶことが出来たので良かったです。



8 月 26 日 アウクスブルク 1 日目

昼ごろ、私たちはベルリンからアウクスブルクに向けて出発しました。そして 2 時間ほどでミュンヘン空港に到着。そこで、まずは初めて長浜市青年使節団の方たちと対面しました。それから、長浜市と尼崎市のメンバー全員でバスに乗り、ホストファミリーが待っているホテルへ向かいました。およそ、1 時間半でホテルに到着。いよいよ、ホストファミリーと対面の時です。私は、何度かホームステイを経験したことがあったので、行く前はそんなに緊張を感じ

なかったのですが、いよいよ対面となると少し緊張しました。しかし、私がお世話になったホストファミリーのロミーは本当に日本語が上手で初めて会った時に日本語で「はじめまして」と挨拶してくれ、その後お父さん、お母さん、ペットのことを日本語で紹介してくれました。このおかげで私の緊張は和らぎました。そして対面後少しホテルで過ごした後、ホストファミリーと一緒に散歩に行きました。初めは晴れていたのが良かったのですが、途中から雨が降ってきてしまい少し残念でした。そして散歩後、ロミーのお母さんが「次はどこに行きたい」と聞いてくれたのですが、私はアウクスブルクにどんなものがあるのかわからなかったのが困っているとロミーが「家の近くの城を見に行こう」と言ってくれたので、その城を見に行きました。中は入れなくて外観だけを見たのですがやはりきれいでした。また城の場所から見た街並みがとても綺麗で感動しました。そしてこの日はこの後、家に帰り次の日に備えてゆっくりしました。

8月27日 2日目

午前9時に市庁舎前広場に集合して、それから午前中は市内を視察しました。そして、正午から市庁舎で市長表敬訪問が行われました。市長表敬訪問は、1時間ほどあり少し緊張しました。尼崎市青年使節団員は名刺を作ってもらっていたのですが、とっさに名刺を出すことが出来ず、市長が団員一人一人に挨拶をしてまわっているときに名刺を交換することはできませんでした。しかし、後から他の尼崎市の団員のおかげで何とか名刺を交換することが出来ま

した。この訪問の中で芳名録に記帳したのですが、記帳しながらこの文字が何年間が残るのだなと思うと、「もう少し字をきれいに書けるように練習してきたら良かったな」と少し後悔しました。そして表敬訪問の後、昼食に市庁舎の地下のレストランへ行きました。そこで、市長表敬に参加していたホストファミリーの人たちも一緒に昼食をいただきました。その中には、私のホストのロミーもいました。昼食後、私たち団員はシティーギャラリーへ向かいました。そして、ショッピングセンターを見学し、自由時間に買い物をして過ごしました。この日は、この後市庁舎広場まで戻り解散しました。解散後も、私とロミーはショッピングを市庁舎の周りをうろろしました。そして、数時間後家に帰りました。



8月28日 3日目

午前9時に市庁舎前に集合して、それからまず新市立図書館を視察しました。ドイツと日本の図書館について学ぶ良い機会になりました。中でも驚いたのは、返却 box を使って返却された本や CD が機械によって自動的に分類されるということです。また、ピアノが置いてある部屋が防音になっており、図書館の中でもピアノやバンドの

練習が心置きなく出来るということが驚きでした。それから、アウクスブルク大聖堂、市立マーケットを視察しました。市立マーケットでは、色々なものが試食出来てお腹がいっぱいになりました。そして、お昼からプレー市民祭り会場へ行き、まずは昼食を取りました。昼食の途中、ロミーを含め何人かのホストファミリーの学生が祭りの会場にやって来ました。そして、昼食後ホストファミリーも加わり、市民祭りの舞台裏を視察しました。その後、偶然祭りの会場へ来ていたアウクスブルク市長がいるテントへ行き、オーケストラの方たちから歓迎を受けました。そして夜は中嶋さんのホストファミリーのマティアスの家でBBQをしました。BBQのご飯はおいしく、他のホストファミリーと会話をする機会が持てたので本当に参加出来てうれしかったです。

8月29日 4日目

いつもより早めの午前8時に市庁舎前に集合して、ノイシュヴァンシュタイン城に向かいました。ノイシュヴァンシュタインの駐車場まではバスで行ったのですが、そこから城までは馬車で移動しました。馬車は初めての体験だったので良い思い出になりました。また、生で見るノイシュヴァンシュタイン城は、さすがシンデレラ城のモデルだけあって、きれいで本当に感動しました。そして城を見学し、昼食後、私たちはオーバーアマガウに向かいました。バスから見えるオーバーアマガウの家に描かれている絵画はどれもすてきでした。そして到着後、自由行動で色々な店を覗いたりしました。この日は、市庁舎前広場まで戻り、

すぐに帰宅しました。



8月30日 5日目

午前9時に集合して、それからまずMAN・ディーゼル社の工場へ視察に行きました。私はあまりMAN・ディーゼル社について知らなかったのですが、中で色々なことについて説明してくれたのでMAN・ディーゼル社について知ることが出来ました。そして昼食後は、動物園と植物園へ視察に行きました。動物園では、柵の中に入れてもらい直にエサをあげるところを見ることが出来ました。また植物園では、日本庭園を見学させていただきました。この日は、市庁舎前広場まで戻ってから、ロミー、伊藤さん、伊藤さんのホストファミリーのアンディとともにアンディの姉の勤務先radio fantasyを見学しました。その後、ロミーたちが計画してくれたボウリングを楽しみました。私は、めったに日本でもボウリングに行かないので最初は少し戸惑いましたが、スコアがどうであれ、最終的にはみんなと楽しむことが出来たので良かったです。



8月31日 6日目

たった1日の中でとても多くの場所を訪れました。最初に行った幼稚園と大学の視察では、日本とドイツの学校制度の違いについて知ることが出来ました。また、大学では規模の大きさについて特に驚かされました。大学視察後、ブッペンキステ博物館を見学しました。それから、ブッペンキステ内のカフェで昼食を取り、モーリッツ広場へ移動しました。そこで、少しの間自由行動をして次にモーツァルトハウスに行きました。そこでは、モーツァルトのことについてより一層知ることが出来、またモーツァルトの直筆の楽譜を見ることが出来たのでとても満足しました。その後、夜に送別会が行われるコルピングハウスで本番前まで最後の練習をしたりリハーサルを行ったりしました。

はじめに長浜市、続いて尼崎市が演目を披露しました。本番で私はミスをしてしまったのですが、他のみんなのフォローのおかげで何とかやり切ることが出来ました。最後に長浜市と尼崎市が共同で行ったビンゴ大会は好評でした。そして、終わりが近づいたころアウクスブルク市青年使節団員がキロクの「未来へ」を日本語で歌ってく

れ、感動しました。送別会后、しばらくはその場にとどまり、色々な人と名刺を交換したり写真を撮ったりしました。そして、しばらくしてから帰宅しました。



9月1日 7日目

この日は、1日自由行動の日でした。残念ながらロミーは友人の結婚式に参加するというので一緒にこの日を過ごせなかったため、私はお父さんとお母さんと一緒にミュンヘンへ行きました。ミュンヘンでは、教会を見たり、博物館を訪れたり、店を見てまわったりして過ごしました。それから、オリンピアショッピングセンターというところに連れて行ってもらいました。そこで、お土産のハリボのグミを購入しました。その際、お母さんがスーパーまで連れて行ってくれ、色々なハリボの形について、ジェ

スチャーや鳴き声の真似を交えて教えてくれました。最初は、お父さんとお母さんだけで一緒に買い物に行くことに戸惑いを感じていましたが、2人とも一生懸命私に話しかけてくれたので、最終的には楽しく3人で過ごすことが出来ました。

そして、家に帰って夕食を取りました。夕食後、お母さんがプレゼントとして時計を用意してくれていました。言葉も通じず困っているだけだった私をこんな風に温かく歓迎してくれたロミー一家に感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、次からは「たとえ言葉が通じなくても話そうとする姿勢を積極的に持とう」と思いました。また、機会があればドイツ語をもっとしっかり学びたいとも思いました。



9月2日 8日目

いよいよ最後の日です。朝、起きて仕度を終わるとロミーが私の両親にと言ってアウクスブルク市の風景などが載っている本

をくれました。それから、お父さんの車に乗って市庁舎前広場まで送ってもらいました。そして、到着後しばらくは色々な人たちと写真を撮ったりして別れを惜しみました。そしていよいよお別れのとき、私は今まで一度も泣きながらお別れをしたことがなかったのですが、今回は本当に短い期間の中で多くの思い出があり少し涙ぐんでしまいました。そして、バスへ乗り込み尼崎市団員一同はミュンヘン空港へ向かいました。

そして9月3日午前、無事に日本に帰って来ました。

最後に・・・

私はこの研修を通じて本当に多くのことを学びました。中でも、身に染みて感じたのは、たとえ言葉が通じなくても諦めずにジェスチャーなどを加えて会話を試みるということです。これは、本当にコミュニケーションを取る上で必要なことだと思いました。こういったドイツを訪れる中で学んだ事を将来に活かして過ごしていきたいと思えます。そして、アウクスブルク市との交流がこれからも続いていくように私が参加できることがあれば、参加して交流を続けていきたいと思えます。本当に短い期間の中でとても多くのことを体験させていただき、一生忘れないすばらしい経験になりました。